

重点研究領域紹介

森林総合研究所は、森林・林業・木材産業に係わる中核的な研究機関として、科学的知識の集積を図りながら、行政や社会的ニーズに関連した分野横断的・総合的研究を一層推進するため、平成12年12月に公表された「林政改革大綱」及び「林政改革プログラム」に基づいて策定した「森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発戦略」を踏まえ、「森林における生物多様性の保全に関する研究」、「森林の国土保全、水資源かん養、生活環境保全機能の高度発揮に関する研究」、「森林に対する生物被害、気象被害等の回避・防除技術に関する研究」、「多様な公益的機能の総合発揮に関する研究」、「地球環境変動下における森林の保全・再生に関する研究」、「効率的生産システムの構築に関する研究」、「森林の新たな利用を推進し山村振興に資する研究」、「循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究」、「生物機能の解明と新素材の開発に向けた研究」、「森林・林業・木材産業政策の企画立案に資する研究」を重点的に推進します。

なお、「循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究」については、「木質資源の環境調和・循環利用技術の開発に関する研究」と「安全・快適性の向上を目指した木質材料の加工・利用技術の開発に関する研究」に分けて実施します。

先月号で、これら重点研究領域の研究課題及び研究項目を掲載いたしました。今回は、より具体的な重点研究領域の解説をお送りいたします。

森林における生物多様性の保全に関する研究

森林の国土保全、水資源かん養、生活環境機能の高度発揮に関する研究

森林に対する生物被害、気象被害等の回避・防除技術に関する研究

多様な公益的機能の総合発揮に関する研究

地球環境変動下における森林の保全・再生に関する研究

効率的生産システムの構築に関する研究

森林の新たな利用を推進し山村振興に資する研究

循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究
(木質資源の環境調和・循環利用技術の開発に関する研究)

循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究
(安全・快適性の向上を目指した木質材料の加工・利用技術の開発に関する研究)

生物機能の解明と新素材の開発に向けた研究

森林・林業・木材産業政策の企画立案に資する研究